※令和７年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	日本史探究「高校日本史」　（山川出版）						
副教材等	新詳日本史　デジタル版　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

戦国時代から現代までの日本の歴史を学習します。プリントやノートを書き取るだけでなく、主体的に学ぶことを念頭に調べ学習や発表などを行います。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1） 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（2） 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

（3） 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和７年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近世の幕開け	1 天下人の登場 2 豊臣政権と桃山文化	a:アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 安土桃山時代の文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b: 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 豊臣政権による朝鮮出兵から、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

			じて、時代を通観する問いを表現しようとしている。 豊臣政権の政策が村落・都市や対外政策に与えた影響を多面的・多角的に追究しようとしている。桃山文化の特徴について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究しようとしている。			

※令和７年度以降入学生用

	幕藩体制の成立と展開	1 江戸幕府の成立 2 江戸初期の外交と文化 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化	a:幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 桃山文化を受け継ぎながらも新しい武家社会の到来を示す寛永期の文化が成立したことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る推移について理解している。 産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、都市の経済的繁栄に関わる諸資料から情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、17 世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b: 織豊政権下における社会の仕組みと幕藩体制下とを比較・考察して、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 アジアの国際情勢の変化に着目して、江戸幕府による貿易統制、禁教の徹底や、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 近世前期における幕府の統治政策や藩財政の推移と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

			c：織豊政権と幕藩体制の社会の仕組みを比較・考察しながら、幕藩体制が確立する画期について、主体的に追究しようとしている。 江戸幕府の鎖国政策について、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。 幕藩体制が安定していくなかで、江戸幕府の諸政策が人びとの暮らしへもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。 近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。 幕藩体制が安定していくなかでの経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17 世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト（資料読解・論述問題） ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

2学期	幕藩体制の動揺	1　幕政の改革と宝暦･天明期の文化 2　江戸幕府の衰退 3　化政文化	a:産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などに着目して、幕藩体制の変容や宝暦･天明期の文化の特色を理解している。 列強の接近にともなう事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 政治･経済と文化の関係などに着目して、近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 b:　商品作物の栽培や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 近世の前半と後半を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的･多角的に考察し、表現している。 c:　幕藩体制下の社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や庶民文化を事例としてつながりを見出そうとしている。	･定期テスト ･小テスト	･定期テスト(資料読解・論述問題) ･授業プリント ･調べ学習 ･発表	･討論や発表 ･授業プリント ･調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	近世から近代へ	1 開国とその影響 2 幕府の滅亡と新政府の発足	a:アジア諸国の変化や貿易開始に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯や貿易のおよぼした影響などを理解している。 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、諸資料から適切に情報を読み取り、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について理解している。 b: 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、日本の政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 日本がどのような契機によって近代の国家・社会へと向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 c; 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。 幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	近代国家の成立	1　明治維新 2　立憲国家の成立	a:明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 諸資料から読み取れる地域社会の変化に着目して、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法の制定と議会開設に至る過程を理解している。 b: 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や諸外国と結んだ条約の相互比較、欧米の思想・文化の影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国内体制を欧米の水準に合わせることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 自由民権運動の展開過程を考察したうえで、日本における立憲政治の導入がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	近代国家の展開と国際関係	1　大陸政策の展開 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制	a:日清・日露戦争の前後における条約改正の実現、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 第一次世界大戦前後の国民の政治参加に着目して、大正政変や米騒動、政党内閣の成立について諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目し、国内で様々な社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。 b: 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 大戦中の日本の動向を踏まえ、アジアや欧米諸国との関係がどのように変容したのか、しなかったのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 大戦後に国民の権利の拡大がもたらされたことを踏まえ、国際的な反戦意識や国際的な民族運動の高揚について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 対外的な戦争が日本の近代化の過程のなかでもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。 対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。 東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

3学期	近代の産業と生活	1 近代産業の発展 2 近代の文化 3 市民生活の変容と大衆文化	a:産業の発達の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究の風潮、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 学問・芸術・出版・マス＝メディアの発展について諸資料から情報を読み取り、欧米文化との関わりとその浸透度、社会風潮との関連を理解している。 b: 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 学校教育の必要性の説かれ方や、学校教育の内容と地域社会の変容、国民意識との関係について、近代文化の形成を踏まえて考察し、表現している。 工業国化や都市化と大衆化の発達などを踏まえ、市民生活と地域社会の変容について多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 産業の発展とそれによって発生した社会問題への対応について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 明治期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、明治文化の特色を主体的に追究しようとしている。 マス＝メディアや出版の発達によって誕生した大衆社会が生み出す課題について、主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	恐慌と第二次世界大戦	1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	a:国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、世界的な経済恐慌のもと、国内の経済対策と経済の動揺などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。 政治・経済体制の変化に着目して、満洲事変に際しての世論や軍部の直接行動に関連する諸資料から情報を読み取り、軍部の台頭と対外政策について理解している。 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 b: ワシントン体制下の協調外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。 当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 戦争がアメリカやイギリスなどとの戦争に拡大した理由や、日本における全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 c: 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人びとの議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。 満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。 日中戦争から太平洋戦争に至る過程や日本政府の対応を考察することを通じて、第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

	現代の世界と日本	1 占領下の改革と主権の回復 2 55 年体制と高度経済成長 3 現代の情勢	a:第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯や、戦後の日本経済の成長や、高度成長期の国民生活や地域社会の変化について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったこと、冷戦終結後の国際関係、55 年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。 b: 地域社会の変容にも留意しながら、占領前後の社会や思想・文化などを比較・考察し、その結果を、根拠を明確にして表現している。 外交事案がもたらした課題や日本の経済復興や高度成長、様々な社会問題の発生について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因や、国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。 c: 連合国による日本占領機構の特色やその目的を考察することを通じて、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、現代の日本との関係性を踏まえながら、主体的に追究しようとしている。 際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(資料読解・論述問題) ・授業プリント ・調べ学習 ・発表	・討論や発表 ・授業プリント ・調べ学習

※令和７年度以降入学生用

			55 年体制の歴史的意義や、1960 年代における保守政権の安定化を考察し、高度経済成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化を踏まえて学習を振り返り、国内政治・経済の課題を主体的に見出そうとしている。 冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度